

人権に関する意識調査報告書

《概要版》

宮 津 市

1 調査目的

本調査は、市民の人権問題に対する考えを把握するとともに、今後の人権教育及び啓発活動に活かしていくための検討資料とすることを目的とする。

2 調査設計

(1) 調査対象

宮津市に在住の18歳以上の市民から2,400人を無作為抽出

(2) 抽出方法

住民基本台帳から、市内の性別・年齢別構成を考慮し、2,000人を層化抽出した。(これを標準サンプルという。)回収率が低いとみられる18~39歳については、別に400人を抽出し、これを追加した。(これを追加サンプルという。)

(3) 調査方法

郵送配付・郵送回収

(4) 調査期間

令和2年10月1日~10月25日

3 回収結果

有効回収数：1,105件（有効回収率：46.0%）

（このうち 標準サンプル：977件、追加サンプル：128件）

4 概要版の見方

(1) 調査結果は標準サンプルのものである。

(2) 図中のn（number of case）は、設問に対する回答者数のことである。

(3) 回答比率（%）は、回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。そのため、四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。

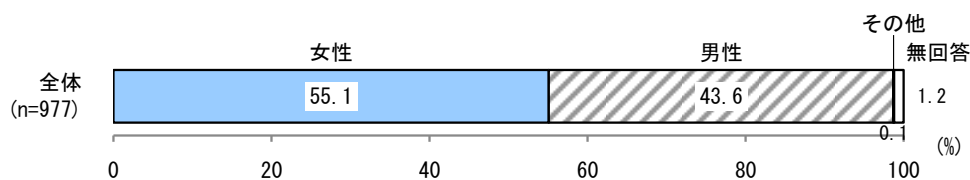
なお、回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることに留意が必要。

(4) 図中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。

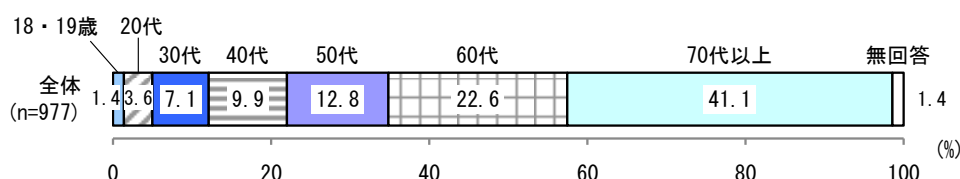
MA%（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

1 回答者属性

(1) 性別

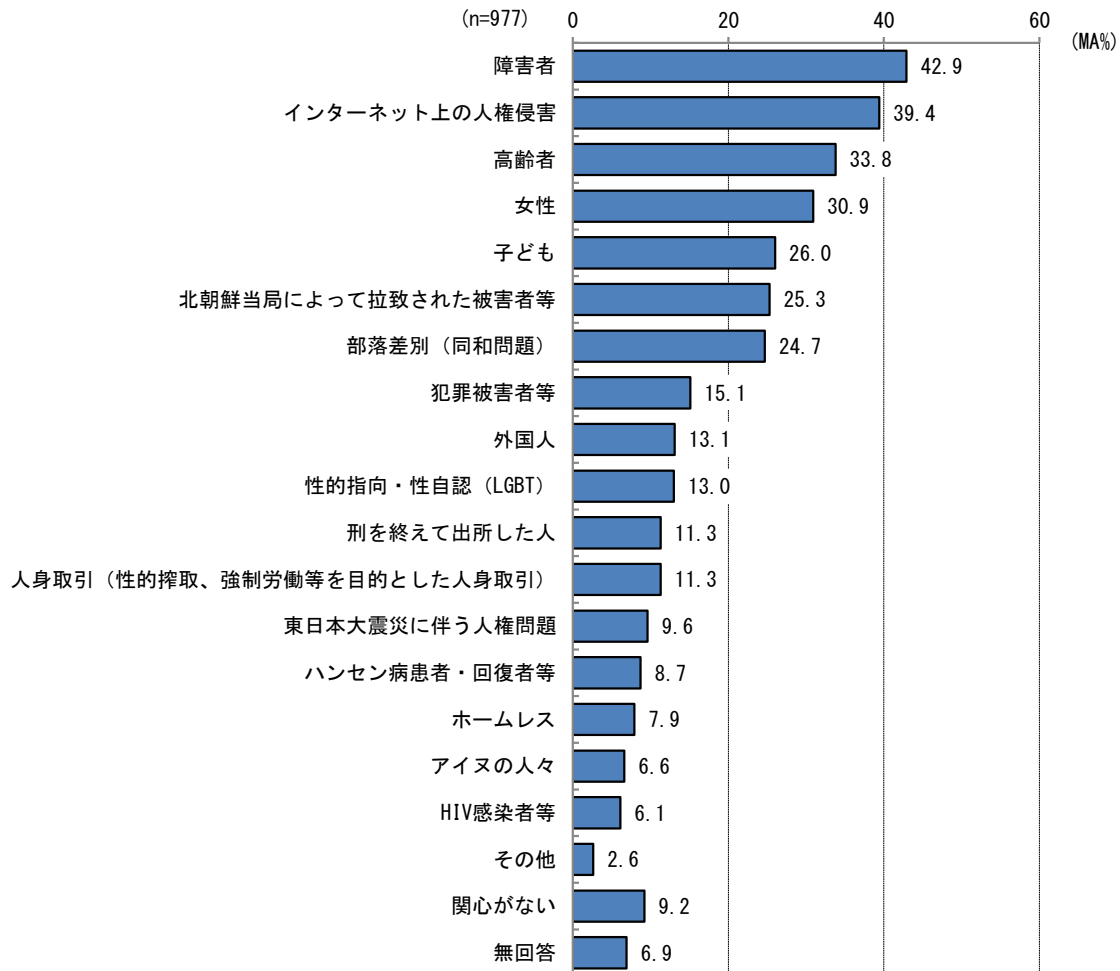


(2) 年齢



2 人権問題への関心等

日本における人権問題について、あなたの関心があるものはどれですか。

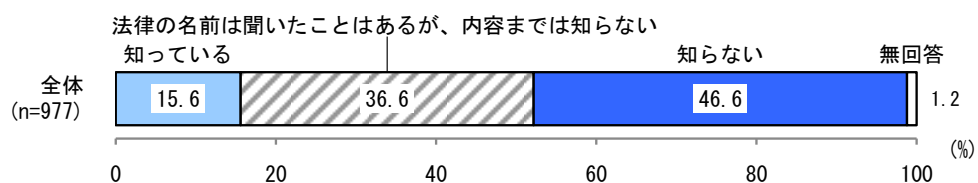


関心のある人権問題としては、「障害者」の人権問題が 42.9%で最も多く、次いで「インターネット上の人権侵害」の問題が 39.4%、「高齢者」の人権問題が 33.8%、「女性」の人権問題が 30.9%となっている。

3 差別に対する法律について

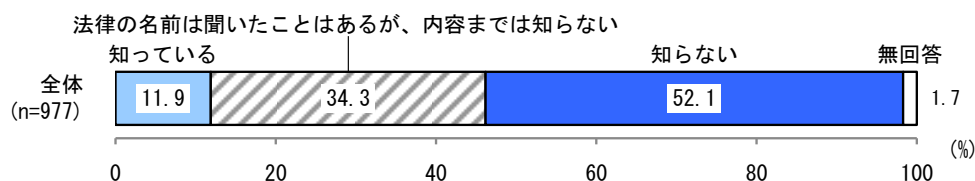
法律についてお尋ねします。

(1) あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律 (部落差別解消推進法)」を知っていますか。



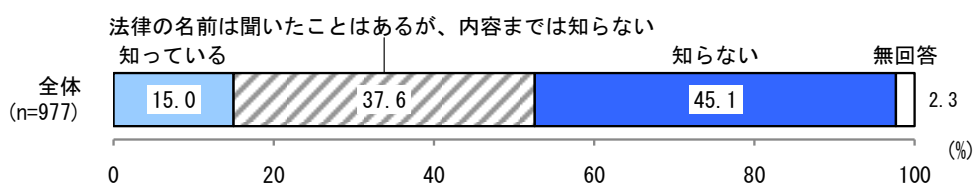
部落差別解消推進法の認知度について、「知らない」が 46.6%で最も多く、次いで「法律の名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 36.6%、「知っている」が 15.6%となっている。

(2) あなたは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。



障害者差別解消法の認知度について、「知らない」が52.1%で最も多く、次いで「法律の名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が34.3%、「知っている」が11.9%となっている。

(3) あなたは、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」を知っていますか。

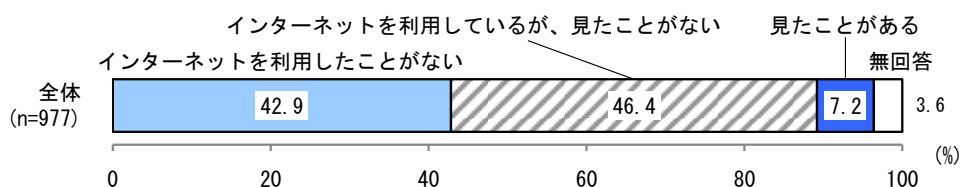


ヘイトスピーチ解消法の認知度について、「知らない」が45.1%で最も多く、次いで「法律の名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が37.6%、「知っている」が15.0%となっている。

4 部落問題や同和地区に関する意識等

(1) 部落差別に関する人権侵害事例

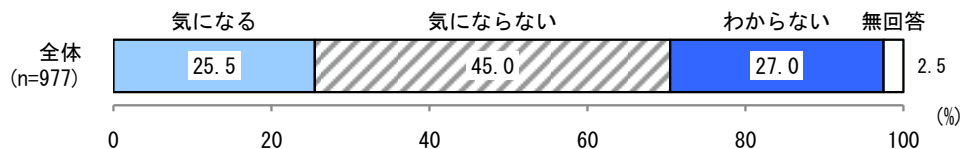
あなたは、部落差別の問題に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。



インターネット上で人権侵害事例を見たことがあるかについて、「インターネットを利用しているが、見たことがない」が46.4%で最も多く、次いで「インターネットを利用したことがない」が42.9%、「見たことがある」が7.2%となっている。

(2) 交際相手や結婚相手について

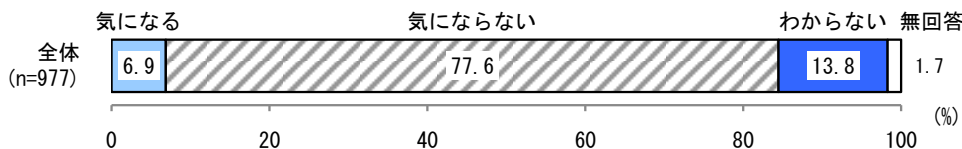
あなたは、交際相手や結婚相手が、同和地区の出身者であるか否か気になりますか。既婚の方は、未婚であると仮定して回答してください。



交際相手や結婚相手が同和地区の出身者であるか否か気になるかについて、「気になる」が25.5%、「気にならない」が45.0%となっている。

(3) 求人について

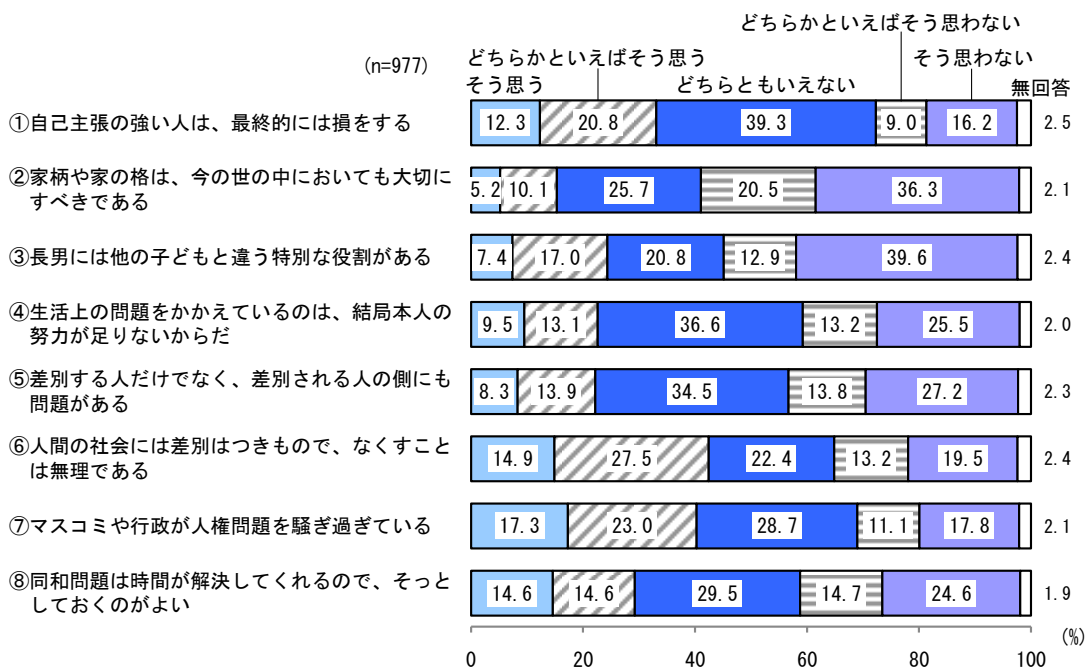
あなたは、求人に対する応募者や職場の同僚が、同和地区の出身者であるか否か気になりますか。



求人の応募者や職場の同僚が同和地区の出身者であるか否か気になるかについて、「気になる」は6.9%、「気にならない」は77.6%となっている。

5 世の中のあり方や人間関係についての考え

世の中のあり方や人間関係について次のような考え方がありますが、あなたはどのように思われますか。1～8のすべてについてお答えください。



世の中のあり方や人間関係についての考えを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』と比較すると、『そう思う』が多い項目は、“⑥人間の社会には差別はつきもので、なくすことは無理である”（42.4%）、“⑦マスコミや行政が人権問題を騒ぎ過ぎている”（40.3%）となっている。

一方、『そう思わない』が多い項目は、“②家柄や家の格は、今の世の中においても大切にすべきである”（56.8%）、“③長男には他の子どもと違う特別な役割がある”（52.5%）、“④生活上の問題をかかえているのは、結局本人の努力が足りないからだ”（38.7%）、“⑤差別する人だけでなく、差別される人の側にも問題がある”（41.0%）、“⑧同和問題は時間が解決してくれるので、そっとしておくのがよい”（39.3%）となっている。

また、“①自己主張の強い人は、最終的には損をする”では、「どちらともいえない」が39.3%で最も多くなっており、『そう思う』は33.1%、『そう思わない』は25.2%で、『そう思う』のほうが多い傾向にある。

6 人権侵害の状況

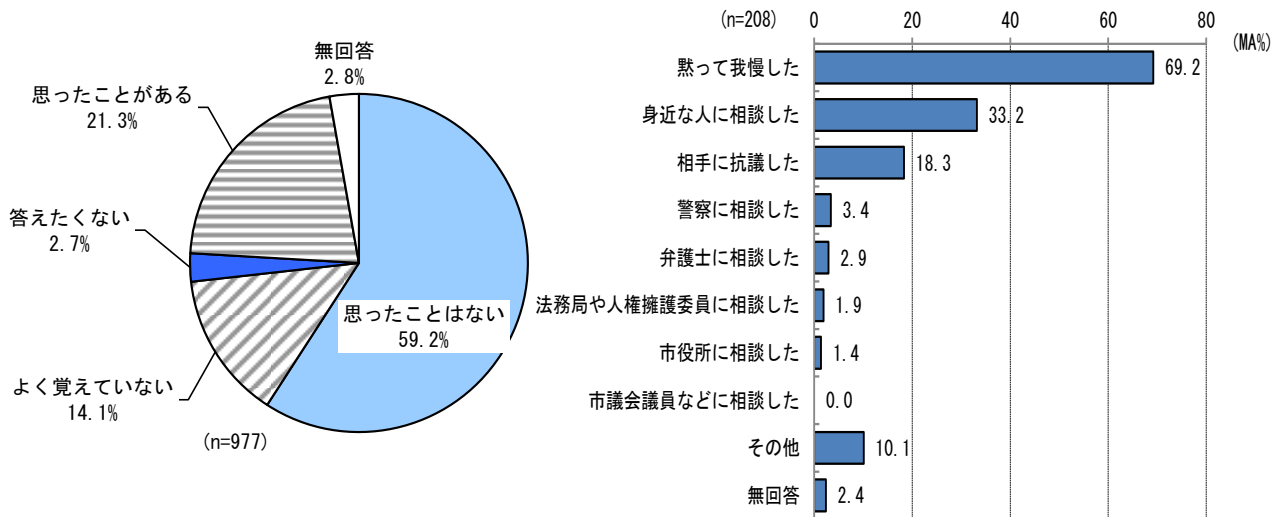
差別や人権侵害を受けた経験

人権侵害についてお尋ねします。

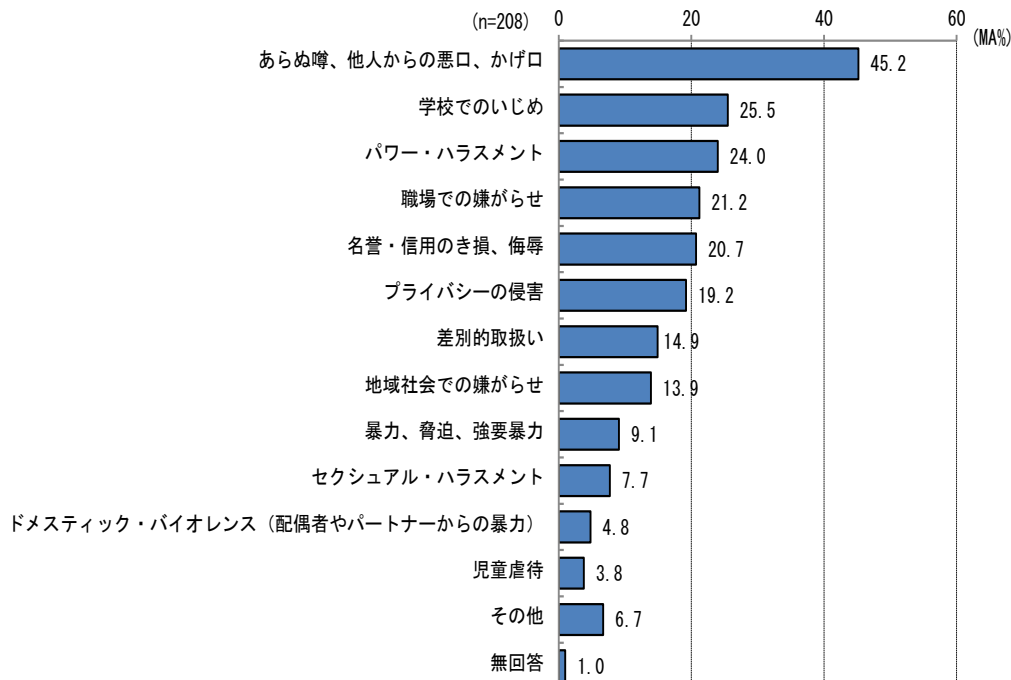
あなたは、これまで、ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。

【差別や人権侵害を受けたと思っただことの有無】

【差別や人権侵害を受けたときの対応】



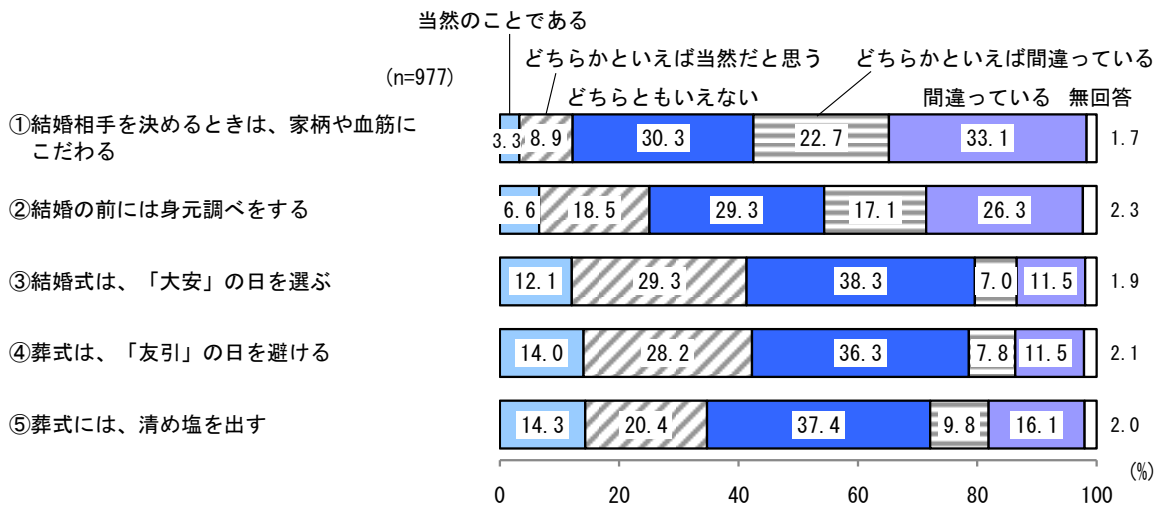
【差別や人権侵害を受けたときの状況】



差別や人権侵害を受けたと思っただことの有無について、「思ったことはない」が59.2%で最も多くなっている。これに次いで、「思ったことがある」は21.3%となっており、5人に1人は人権を侵害された経験があると回答している。

7 因習やしきたりに対する考え

日本には古くからいろいろな因習やしきたりがありますが、あなたは次のことがらについてどのように思われますか。1～5のすべてについてお答えください。



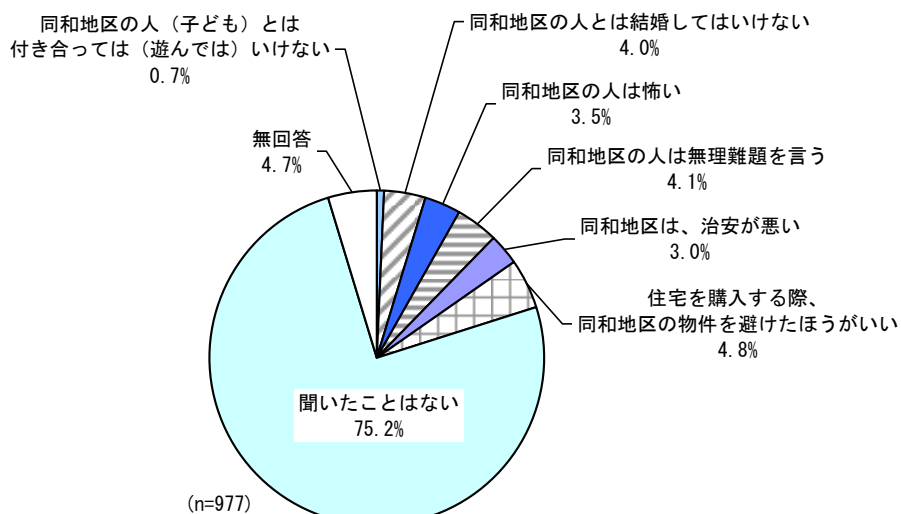
日本の因習やしきたりに対する考えを、「当然のことである」と「どちらかといえば当然だと思う」を合わせた『当然である』と、「どちらかといえば間違っている」と「間違っている」を合わせた『間違っている』で比較すると、『当然である』が多い項目は、“③結婚式は、「大安」の日を選ぶ” (41.4%)、“④葬式は、「友引」の日を避ける” (42.2%) となっている。

一方、『間違っている』が多い項目は、“①結婚相手を決めるときは、家柄や血筋にこだわる” (55.8%)、“②結婚の前には身元調べをする” (43.4%) となっている。

また、“⑤葬式には、清め塩を出す”では、「どちらともいえない」が37.4%で最も多くなっており、『当然である』は34.7%、『間違っている』は25.9%で、『当然である』のほうが多い傾向にある。

8 同和問題に対する発言を聞いた状況及び考え

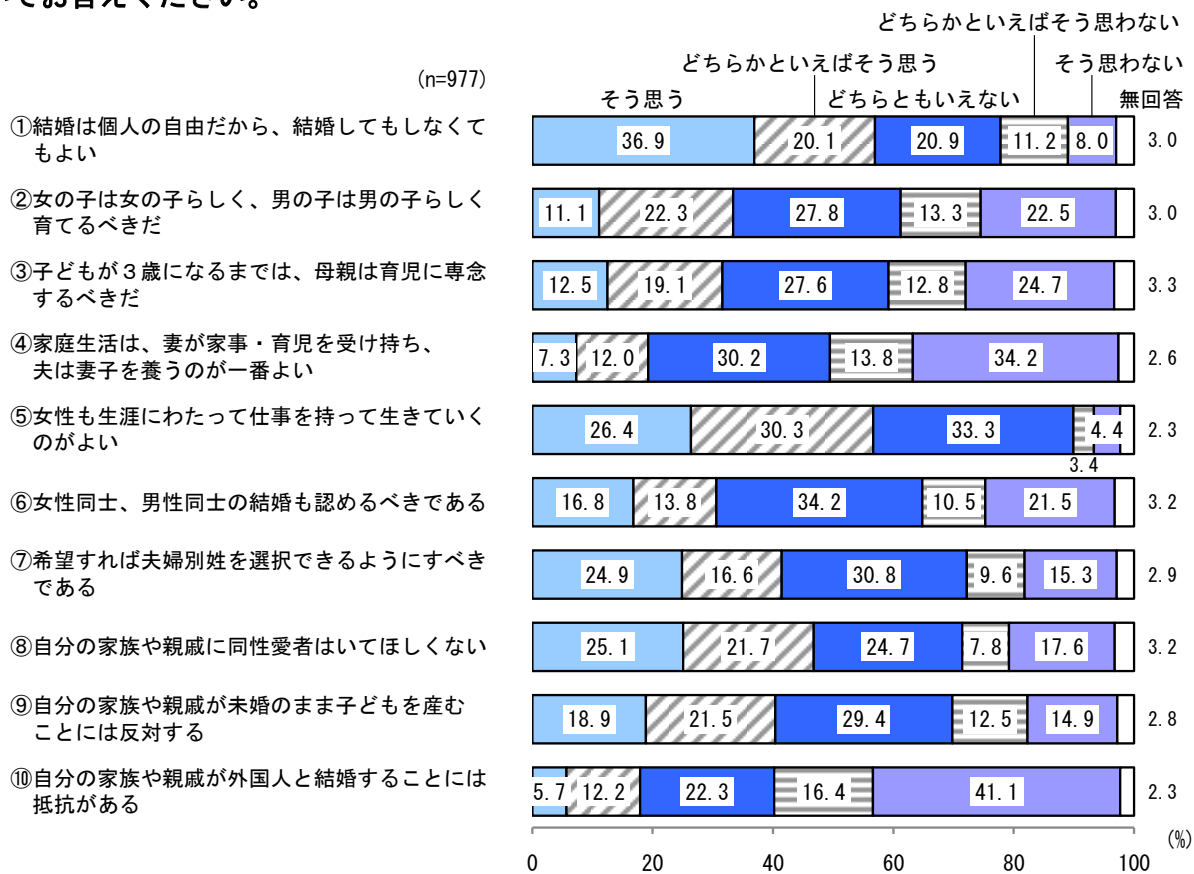
あなたは、ここ5年間の間に、同和問題に対して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。



同和問題に対する発言を聞いた経験及びその内容について、全体の2割となる5人に1人は聞いた経験があると答えており、そのうち強く印象に残った内容として「住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうが良い」が4.8%で最も多くなっている。一方、「聞いたことはない」は75.2%となっている。

9 家族に関する見方や考え方

家族に関する見方や考え方について、あなたはどのように思われますか。1～10のすべてについてお答えください。



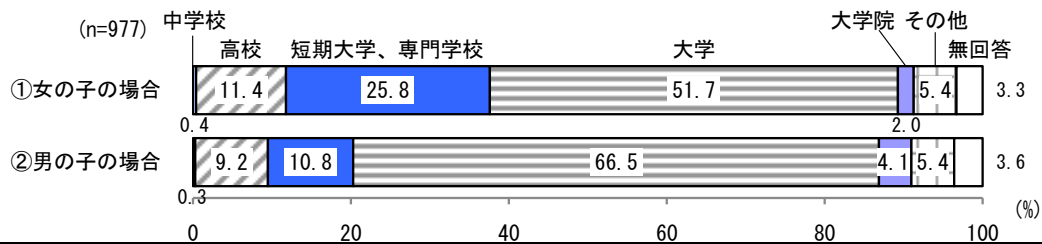
家族に関する見方や考え方について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』で比較すると、『そう思う』が多い項目は、“①結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい” (57.0%)、“⑤女性も生涯にわたって仕事を持って生きていくのがよい” (56.7%)、“⑦希望すれば夫婦別姓を選択できるようにすべきである” (41.5%)、“⑧自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない” (46.8%)、“⑨自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことには反対する” (40.4%) となっている。

一方、『そう思わない』が多い項目は、“②女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ” (35.8%)、“③子どもが3歳になるまでは、母親は育児に専念するべきだ” (37.5%)、“④家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい” (48.0%)、“⑩自分の家族や親戚が外国人と結婚することには抵抗がある” (57.5%) となっている。

また、“⑥女性同士、男性同士の結婚も認めるべきである”では、「どちらともいえない」が34.2%で最も多く、『そう思う』は30.6%、『そう思わない』は32.0%となっており、回答がほぼ3等分となっている。

10 子どもに受けさせたい教育の程度

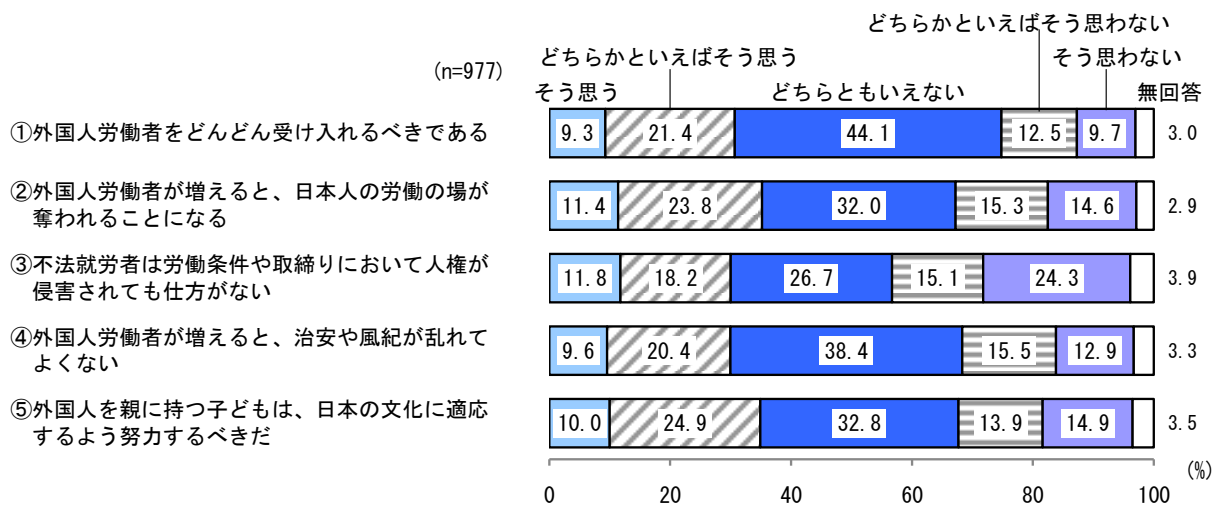
あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。子どもの有無にかかわらず男女それぞれについてお答えください。



子どもに受けさせたい教育の程度について、「女の子の場合」、「男の子の場合」ともに「大学」までが最も多く、「大学院」までを合わせると、「女の子の場合」は53.7%、「男の子の場合」は70.6%となっている。子どもの性差に関わらず「大学」までを希望する人が多くなっているが、10ポイント以上の差で「男の子」のほうが高い割合になっている。

11 外国人雇用についての考え

国際化時代の今日、海外から多くの外国人が来日されていますが、あなたはどのように思われますか。1～5のすべてについてお答えください。



外国人労働者に対する考えについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』を比較すると、『そう思う』が多い項目は、「②外国人労働者が増えると、日本人の労働の場が奪われることになる」(35.2%)と「⑤外国人を親に持つ子どもは、日本の文化に適応するよう努力するべきだ」(34.9%)となっている。

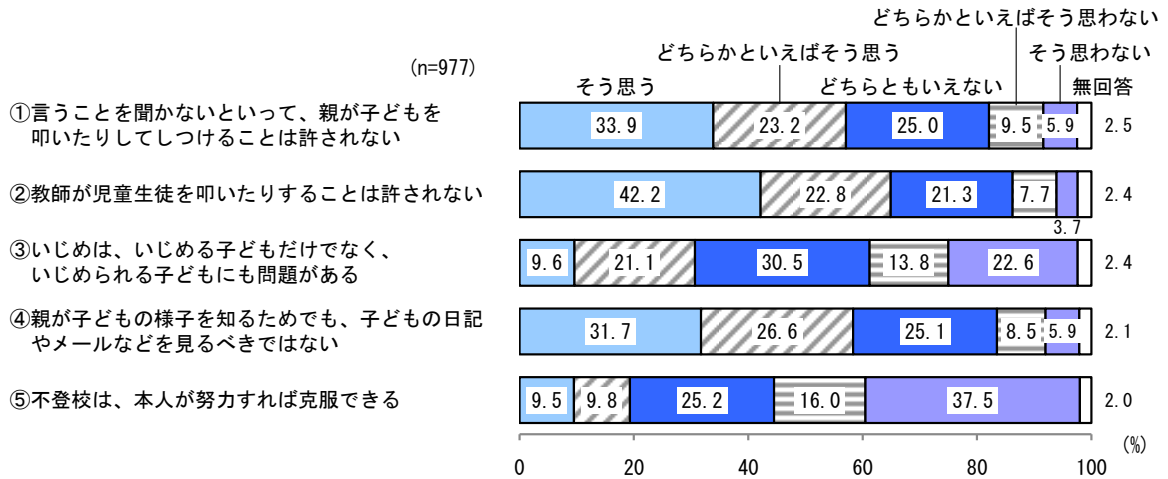
一方、『そう思わない』が多い項目は、「③不法就労者は労働条件や取締りにおいて人権が侵害されても仕方がない」(39.4%)となっている。

また、「①外国人労働者をどんどん受け入れるべきである」では、「どちらともいえない」が44.1%で最も多くなっており、『そう思う』は30.7%、『そう思わない』は22.2%で、『そう思う』のほうが多い傾向にある。「④外国人労働者が増えると、治安や風紀が乱れてよくない」も「ど

「ちらともいえない」が38.4%で最も多くなっており、『そう思う』は30.0%、『そう思わない』は28.4%で、『そう思う』のほうがやや多い傾向にある。

12 子どもの人権に関する意見や考え方

あなたは、次に掲げた子どもの人権に関する意見や考え方について、どのように思われますか。
1～5のすべてについてお答えください。

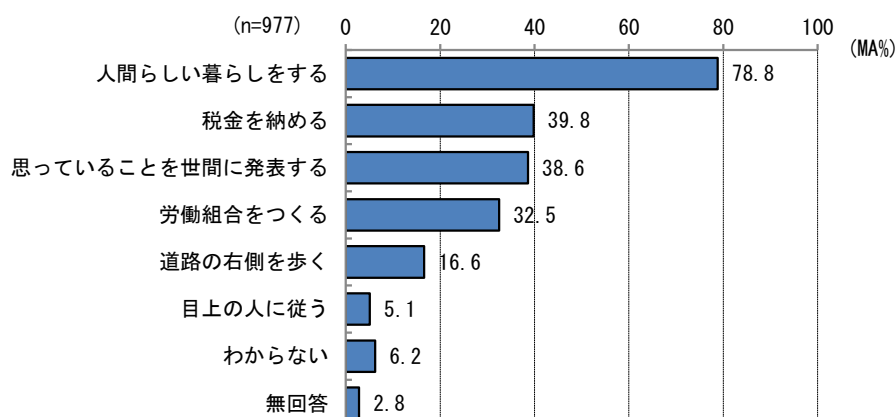


子どもの人権に関する意見や考え方について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』で比較すると、『そう思う』が多い項目は、“①言うことを聞かないといって、親が子どもを叩いたりしてしつけることは許されない”（57.1%）、“②教師が児童生徒を叩いたりすることは許されない”（65.0%）、“④親が子どもの様子を知るためでも、子どもの日記やメールなどを見るべきではない”（58.3%）となっている。

一方、『そう思わない』が多い項目は、“③いじめは、いじめる子どもだけでなく、いじめられる子どもにも問題がある”（36.4%）“⑤不登校は、本人が努力すれば克服できる”（53.5%）となっている。

13 国民の権利として憲法で決められていると思うもの

憲法によって義務ではなく国民の権利として決められているものはどれだと思いますか。

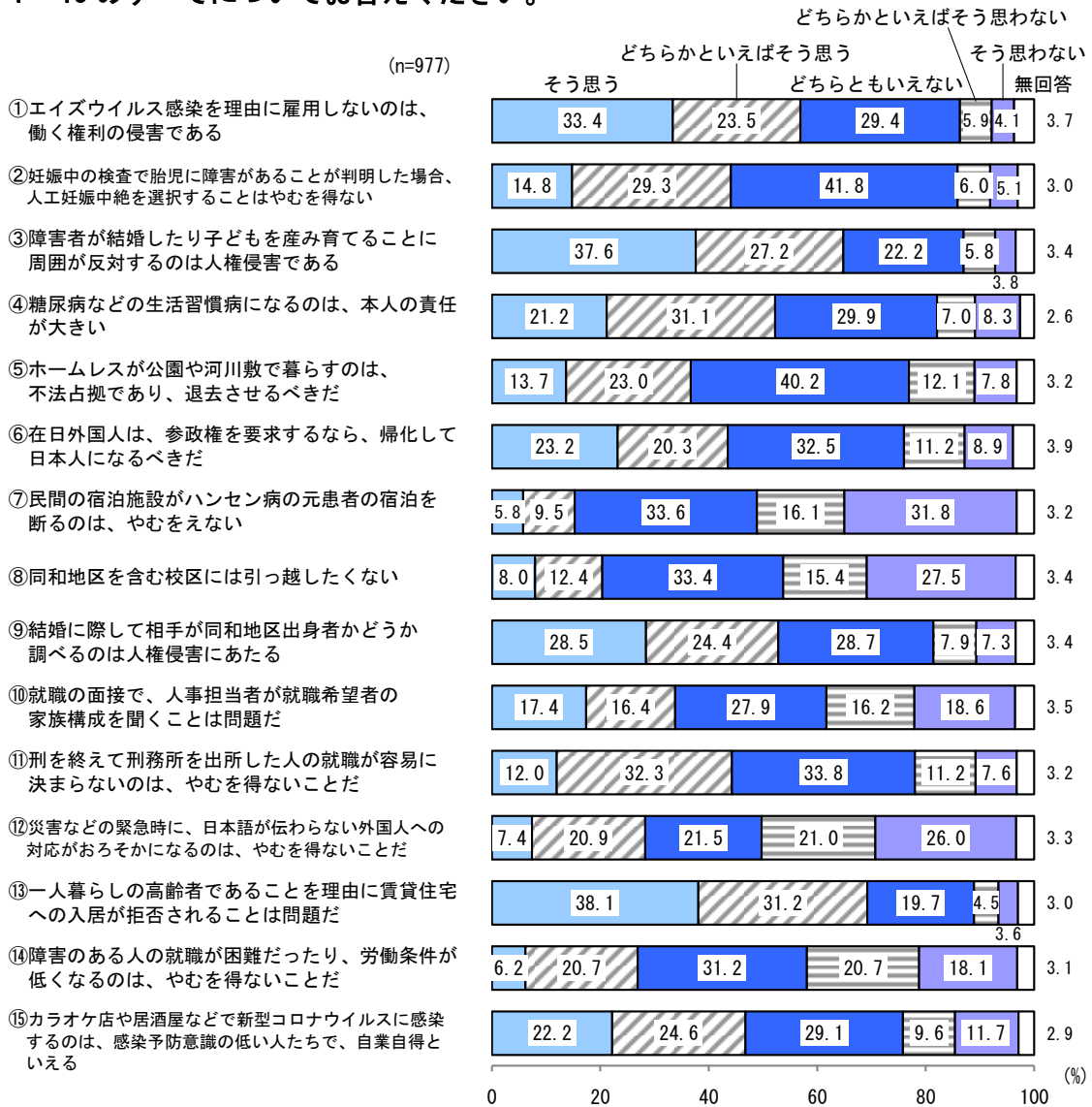


憲法によって国民の権利として決められていると思うものとして、「人間らしい暮らしをする」が78.8%で最も多く、次いで「税金を納める」が39.8%、「思っていることを世間に発表する」が38.6%となっている。

14 人権侵害にすることがらに対する考え

次に掲げることがらについて、あなたはどのように思われますか。

1～15のすべてについてお答えください。



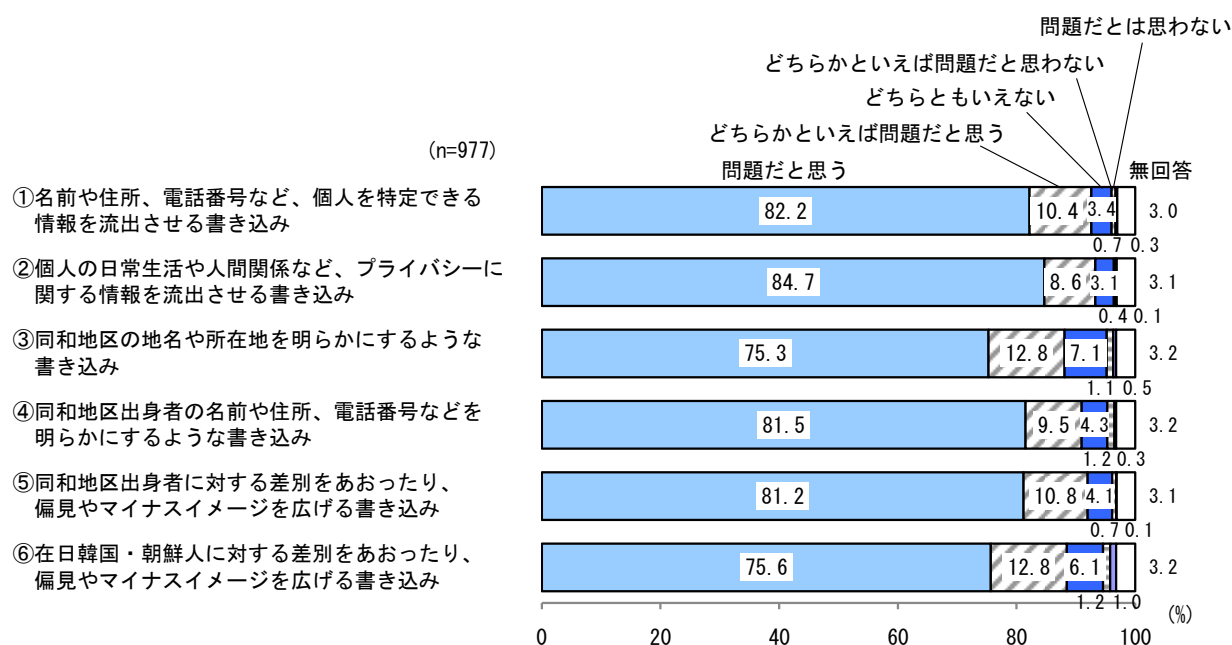
人権侵害にすることがらに対する考えについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』で比較すると、『そう思う』が多い項目は、「①エイズウイルス感染を理由に雇用しないのは、働く権利の侵害である」(56.9%)、「②妊娠中の検査で胎児に障害があることが判明した場合、人工妊娠中絶を選択することはやむを得ない」(44.1%)、「③障害者が結婚したり子どもを産み育てることに周囲が反対するのは人権侵害である」(64.8%)、「④糖尿病などの生活習慣病になるのは、本人の責任が大きい」(52.3%)、「⑥在日外国人は、参政権を要求するなら、帰化して日本人になるべきだ」(43.5%)、「⑨結婚に際して相手が同和地区出身者かどうか調べるのは人権侵害にあたる」(52.9%)、「⑩刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ」(44.3%)、「⑬一人暮らしの高齢者であることを理由に賃貸住宅への入居が拒否されることは問題だ」(69.3%)、「⑮カラオケ店や居酒屋などで新型コロナウイルスに感染するのは、感染予防意識の低い人たちで、自業自得といえる」(46.8%)となっている。

一方、『そう思わない』が多い項目は、“⑦民間の宿泊施設がハンセン病の元患者の宿泊を断るのは、やむをえない” (47.9%)、“⑧同和地区を含む校区には引っ越したくない” (42.9%)、“⑫災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人への対応がおろそかになるのは、やむを得ないことだ” (47.0%)、“⑭障害のある人の就職が困難だったり、労働条件が低くなるのは、やむを得ないことだ” (38.8%) となっている。

また、“⑤ホームレスが公園や河川敷で暮らすのは、不法占拠であり、退去させるべきだ”では、「どちらともいえない」が40.2%で最も多くなっており、『そう思う』は36.7%、『そう思わない』は19.9%で、『そう思う』のほうが多い傾向にある。“⑩就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くことは問題だ”では、『そう思う』が33.8%、『そう思わない』が34.8%で同程度の割合となっている。

15 WEB上への書き込みに対する考え

スマートフォンやパソコンなどのインターネット上での次のような書き込みについて、あなたはどう思いますか。1～6のすべてについてお答えください。



WEB上への書き込みに対する考えについて、いずれの項目も「問題だと思う」が7割以上を占めており、「どちらかといえば問題である」を含めると約9割もの人が問題だと感じている。また、「問題だと思う」割合では、“②個人の日常生活や人間関係など、プライバシーに関する情報を流出させる書き込み”が84.7%で最も高く、“③同和地区の地名や所在地を明らかにするよう書き込み” (75.3%) や “⑥在日韓国・朝鮮人に対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み” (75.6%) と比べて9ポイントほど上回っている。このように、同和地区の地名や所在地を明らかにしたり、在日韓国・朝鮮人に対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込みよりも、プライバシーが流出するほうが問題であるとする市民が9ポイントとはいえ、みられることは人権啓発の課題だと言える。

人権に関する市民意識調査 概要版

令和3年3月

編集・発行 宮津市

〒626-8501 宮津市字柳縄手345-1

電話 0772-45-1615 / Fax 0772-25-1691
